

統一英語点字（Unified English Braille）について

2015.03.06

白井 康晴

目次

I	UEB の基本原理	2
II	歴史	2
III	マニュアル.....	2
IV	句読符.....	3
V	大文字の表現.....	4
VI	字体の区別.....	5
VII	数字と演算記号	6
VIII	その他の記号.....	9
IX	略字	10
X	英語にとっての外来語.....	22

I UEB の基本原理

- ① 全ての分野を記述するための点字である。（楽譜は例外）
- ② 点字の上でも、どの記号が表されているかの曖昧さを読み手に与えない。
- ③ 墨字の元資料そのままの（を読み取れる）点字を作ることが、最も大切な点訳規則である。（純粹に装飾的なものは除く）
- ④ 墨字記号は、点字においても一つの記号に対応する。その同じ点字記号は、分野に関係なく使用される。
- ⑤ UEB においては、マスあけも含めた **64 種**の点字記号は、前置点か基本点である。
8 種の前置点： $\begin{smallmatrix} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & \cdot & \\ \cdot & \cdot & \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & \cdot & \\ \cdot & & \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & & \cdot \\ \cdot & & \cdot \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & & \\ \cdot & & \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & & \\ \cdot & & \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & & \\ & & \cdot \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & & \\ & & \cdot \end{smallmatrix}$
- ⑥ $\begin{smallmatrix} \cdot & \cdot & \\ \cdot & \cdot & \end{smallmatrix}$ と $\begin{smallmatrix} \cdot & \cdot & \\ \cdot & & \end{smallmatrix}$ は特別な前置点である。二つの前置点を組み合わせて、基本点がなくても点字記号を構成することができる。指示符だけに用いる。
- ⑦ 他の点字記号は、基本点、または基本点にいくつかの前置点を付けて構成する。

II 歴史

- 1991/01 アメリカ点字委員会(BANA)に対して提案(T. V. Cramer & Abraham Nemeth)
- 1992/10 特別委員会による基本部分の報告書
- 1992/12 アメリカ、イギリスに対して開発への参加をすすめる
- 1993/06 国際英語点字協議会(International Council on English Braille)の上での開発に移行
(メンバーにオーストラリア、ニュージーランド、南アフリカが加わる)
- 1995/03 ICEB の特別委員会による改訂された報告書
- 2004/04 ICEB が、UEB は各国で採用しうる十分に完成された国際標準英語点字であることを宣言
- 2004/05 南アフリカが採用。ナイジェリア (2005/02)、オーストラリア (2005/05)、
ニュージーランド (2005/11) と続く
- 2010/04 カナダが採用。イギリス (2011/10。2015 年末に移行)、アメリカ (2012/11。
2016 年 1 月に移行、ただし、理数点字にはネメス式点字も残す)、アイルランド
(2013/12) と続く
- 2010/07 ICEB の理事会、開発プロジェクトに代わって UEB メンテナンス委員会を設置
- 2014/06 日点委、中学教科書(英語のみ)から順次 UEB を採用することを決定(中学は
2016(平成 28)年度用教科書から、高校は 2017(平成 29)年度用教科書から
学年進行)
- ※一般文章中では、なるべく UEB を使わない、略字を用いない方向で検討中

III マニュアル

Christine Simpson ed.: *Unified English Braille—Second Edition 2013*; ICEB, 2013
ICEB Homepage: <http://www.iceb.org/>

IV 句読符

、	コンマ	⠠⠠	;	セミコロン	⠠⠠
:	コロン	⠠⠠	.	ピリオド	⠠⠠
...	エリプシス	⠠⠠⠠⠠	—	ハイフン	⠠⠠
—	ダッシュ	⠠⠠⠠	—	ロングダッシュ	⠠⠠⠠⠠
/	斜線	⠠⠠⠠	〰	汎用コーテーション	⠠⠠ ⠠⠠
“ ”	ダブルコーテーション	⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠			
‘ ’	シングルコーテーション	⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠			
’	アポストロフィ	⠠⠠			
()	丸カッコ	⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠			
[]	角カッコ	⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠			
< >	山カッコ	⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠			
{ }	波カッコ	⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠			

- ① 墨字上のマスあけは、幅に関係なく、点字では1マスあければよい。（点字のレイアウト上の必要性から、2マス以上あけることは有り得る）
- ② ...には、ピリオドと同じ ⠠⠠ を用いる。エリプシスの数や両側のマスあけは、墨字に従う。マスあけが疑わしかったり統一されていない場合には、エリプシスと隣の語は1マスあけ、語の一部の省略はマスあけしない。
- ③ —の両側のマスあけは墨字に従う。マスあけが疑わしかったり統一されていない場合には、語を区切るダッシュの両側は1マスあけ、語中のダッシュはマスあけしない。語中のダッシュ以外は、ダッシュの前後で行移しして、ダッシュを行末や行頭に置いてよい。
- ④ 長さの違うダッシュが用いられているときには、長い方に**ロングダッシュ**を用いる。
- ⑤ タイプライターのように、墨字上の制限により、ダッシュが二つのハイフンで表わされているような場合には、点字では**ダッシュ** ⠠⠠⠠ を用いてもよい。
- ⑥ /の後で行移しする必要がある場合には、後にハイフンを入れる必要はない。
- ⑦ 汎用コーテーションは、最も頻度の高いコーテーションに用いる。どのコーテーションなのかを**注記**する。

IX 略字

(1) 呼び方の変更と廃止された略字

UEB 名称	これまでの日本語名称	廃止されたもの	学習年次
アルファベット縮約語	1 マスの短縮語・1 マス略語 (アルファベットと同じ形)		2年①
強縮約語	1 マスの短縮語・1 マス略語 (⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥)		2年①
強縮約	1 マスの短縮語・1 マス略語 (⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤)		2年①
	1 マスの短縮部・1 マス略字 (⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤)		2年③
強縮約部	1 マスの短縮部・1 マス略字 (その他。⠠ ⠡を除く)	⠠	2年③
下がり縮約語	下がり記号の短縮語・低下略語	⠠(to) ⠠⠠ ⠠⠠(by)	3年③
下がり縮約部	下がり記号の短縮部・低下略字 (⠠ ⠡を含む)	⠠ ⠠(dd)	3年④
頭字縮約	2 マスの短縮語・頭字略字		2年②
末字縮約部	2 マスの短縮部・末字略字	⠠⠠ ⠠⠠	2年③
短形語	章略語・縮語 (最初の2マス、骨組み)		3年①
	(最初の3マス、self、ing 形と セットのもの)	⠠⠠⠠	3年②

(2) 略字記号か、そうでない記号かの書き分け

グレード1 記号符	⠠	グレード1 単語符	⠠⠠
グレード1 連続符	⠠⠠⠠	グレード1 終止符	⠠⠠⠠

- ① UEB では、略字を使うことが標準である。略字として読ませたくない部分には、**グレード1 指示符類**を用いる。
- ② 直後の点字記号を略字に読ませたくない場合には、**グレード1 記号符**を用いる。
- ③ **グレード1 単語符**を前置することで、マスあけがくる所までがグレード1であることを表す。マスあけより前でグレード1 単語符の効力を終わらせたいときには、その部分に**グレード1 終止符**を置く。
- ④ グレード1を**3語以上**（マスあけを区切りとする）続けたいときには、その最初に**グレード1 連続符**を置くことで、以後のグレード1 単語符を省略できる。グレード1を終了させたい所に**グレード1 終止符**を置く。
- ⑤ **大文字指示符類**はグレード1 指示符類より内側に置く。

(3) 略字の適用範囲

- ① 意味や文脈に関係なく、どのような場所にも略字を使用する。
- ② 通常の文章内に出てくるメール、ホームページのアドレスなどにも略字を用いる。
- ③ 語として発音する**略省・略語**には略字を用いるが、アルファベットを文字読みするものには使わない。**be, con, dis** は、元の語で使われていれば用いる。いずれの場合も、元の語が分からない場合には略字を用いてよい。

GO Train ゴウ(Government of Ontario)・トレイン

⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

IT 情報技術 kWh

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cont ← continued

⠠⠠⠠⠠ ← ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

BEd ← Bachelor of Education

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ← ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

- ④ **外国語**は、字体を変えて表されていることが多い。書物間の一貫性より、書物内での一貫した区別に心を配ることが重要である。字体で区別されていないような**外来語（英語化した外国語）**には略字を用い、区別されているような外国語には用いない。判断の付かないものは外国語扱いとして、略字を用いない。

(7) 略字の使い方が変更される語の例

above/below

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

aerobic

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

al fine

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

anteater

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

antedate

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

antinode

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

aqueduct

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ASEAN

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

atmosphere

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Baedeker

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

baloney

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Benedict

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

binomial

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

bloodletter

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Brigham

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Caernarvon

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

CAN Network

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cation

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Chatham

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ch-child

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cheongs

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

chimaera

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

chockfull

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

chromosome

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Clemenceau

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cochleae

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cenobite

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

coney

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

contradistinction

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Daedalus

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

d-day

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

de-ce-ease

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

deduce

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

denationalization

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

deregister

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

diaeresis

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dingy

⠠⠠⠠⠠⠠

distingué

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

doggone

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

edition

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

encyclopaedia

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

enormous

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ensphere

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

equidistance

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

eraser

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

extramental

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

faerie

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

father-in-law

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

fiancé

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

forward

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

galingale

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

g-ghost

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Goering

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

GO Train

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Gruenfeld

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

haddock

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Haddon

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

had-enough

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

hadji

⠠⠠⠠⠠⠠

heartsease

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

honey

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Houghton

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

incongruity

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

in-depth

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

indistinct

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ineradicable

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

in/out

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

in's

⠠⠠⠠⠠⠠

in't

⠠⠠⠠⠠⠠

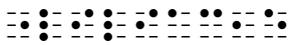
irredeemable

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

lingerie



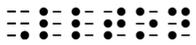
Liliaceae



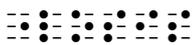
listen-in



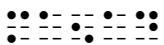
Littleton



lordosis



maenad



malediction



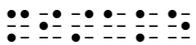
McConnell



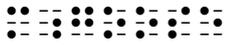
meningitis



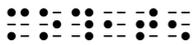
mistake



mongoose



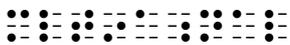
motheaten



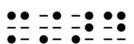
mother-in-law



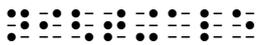
multinational



mustard



nightingale



northeast



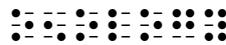
O'CONNOR



Oedipus



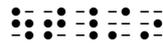
oenology



orthopaedic



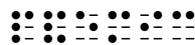
out/in



pæan



pandemic



partake



passe-partout



perineum



phoenix



phoney



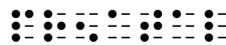
Port Said



prediction



prenatal



prerequisite



print/braille



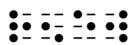
profile



redistribute



renew



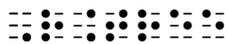
reread



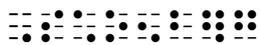
Roentgen



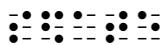
Rountree



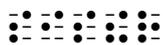
Schoenberg



sedate



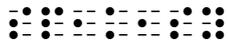
sisther



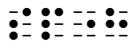
southeast



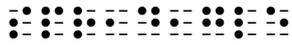
speakeasy



sphere



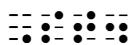
spreadeagle



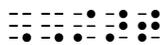
s-stupidity



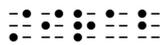
St.



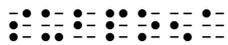
START



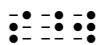
stirabout



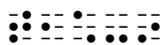
subpoena



sword



teach-in



thecond



thentury



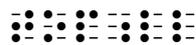
this'd



th-this



topfull



trinodal



uncongeable



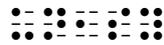
underived



undisturbed



uneasy



unfulfilled



unlessoned



valediction



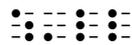
Vandyke



V-J Day



which'll



wh-where



w-will



you's

⠠⠽⠤⠨⠎

useable

⠠⠤⠎⠑⠁⠇⠑

mileage

⠠⠍⠊⠇⠑⠁⠑

oleaginous

⠠⠔⠇⠑⠁⠒⠊⠔⠑⠔⠑

genealogy

⠠⠒⠑⠒⠑⠁⠇⠔⠒⠏⠏⠏

Cumaean

⠠⠎⠤⠍⠁⠑⠁⠏

freedom

⠠⠑⠗⠑⠑⠔⠏⠏

orangery

⠠⠔⠗⠁⠑⠒⠑⠗⠏

【UEBにおいても略字が使用できないもの】

antitype

⠠⠁⠒⠞⠊⠑⠏⠑

arccosine

⠠⠁⠗⠎⠊⠑

biofeedback

⠠⠃⠊⠔⠑⠑⠑⠑⠑⠑

chemotherapy

⠠⠎⠑⠓⠔⠑⠗⠁⠑

chlordane

⠠⠎⠓⠗⠔⠑⠑

cofounder

⠠⠎⠔⠑⠑⠑⠑

Dayan

⠠⠑⠁⠽⠁⠒

deshabille

⠠⠑⠑⠃⠑⠑

disingenuous

⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑

Dworkin

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

forenoon

⠠⠑⠑⠑⠑

inessential

⠠⠒⠑⠑⠑⠑⠑⠑

infrared

⠠⠒⠑⠑⠑⠑

kilowatt

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

microfilm

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

nongaseous

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

prounion

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

retroflex

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

subbasement

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

viceregal

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

whaddaya

⠠⠑⠑⠑⠑⠑

(3) ギリシャ文字

ギリシャ文字	⠠
--------	---

- ① ギリシャ文字の点字記号は日本で使われているものと同様で、前置符には ⠠ を用いる。

μsec

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

- ② 大文字を表すときには、ラテンアルファベットと同じ大文字指示符類を用いる。

Σ

The A AND Ω.

⠠⠠⠠⠠

⠠⠠⠠⠠⠠⠠

⠠⠠⠠

⠠⠠

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠